

科学・技術の世界

ノーベル賞の化学 I・II

Don't miss it !!

授業概要

本講義では、理学部化学科の教授が歴代のノーベル化学賞受賞にまつわるエピソード等を紹介しながら、化学の専門分野をわかりやすく解説します。

到達目標

化学は物理学と生物学の中間に位置しており、その対象は原子から細胞までスケールも広く、非常に多彩な内容を含んでいます。本講義では、「ノーベル化学賞」を軸として化学の先端的内容をわかりやすく教授します。受講者は、講義への積極的な参加とレポート作成を通して化学の幅広い分野に触れ、高校化学と大学化学の明確な違いを理解し、「化学」という学問分野への興味を深めることができます。

授業計画

授業トピックス（抜粋）
クロスカップリング 複雑な有機分子の多段階合成
炭素炭素結合形成反応 ホストゲスト化学から超分子へ
常識を変えた物質・化合物 ノーベル化学賞における生命科学
遺伝子工学の成立と発展 蛋白質の形を決める
巨大分子の化学 物質が変身する舞台
分子の構造や動きを電波で探る 超解像顕微鏡
巨大分子の計算化学 コンピューターで分子の性質や反応を明らかに

成績評価

原則、全講義に出席することを単位認定条件とします。毎回の授業後に、それぞれの講師からだされる課題について、講義の理解の程度、議論の論理性、構成力などを総合的に評価します（100%）。



理学部化学科24期 卒業
2010年ノーベル化学賞受賞
本学名誉教授 鈴木章博士

※鈴木先生の登壇は予定していません。